

教育未来創造会議の提言において、未来を支える人材像について、「好きなことを追究して高い専門性や技術力を身に付け、自分自身で課題を設定して、考えを深く掘り下げ、多様な人とコミュニケーションをとりながら、新たな価値やビジョンを創造し、社会課題の解決を図っていくことのできる人材である」と示されています。

三重大学生の典型的な気質は、素直で協調性が高く、堅実で温和であるとされ、産業界をはじめ広く社会で認められてきました。この三重大学生の良い側面をさらに伸ばしつつ、創造性、主体性、積極性も重視し、地域・社会・世界とのつながりを通して、「行動する力」を引き出すことも教育のビジョンとして設定しました。

現在、三重大大学の教育目標としている「4つの力」を「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」に「行動する力」を加えて総合的な「生きる力」として再構成し、ダイバーシティへの理解と、世界的視野を備えてグローバルに活躍できる人材を、国際交流や、地域の諸課題と向き合うことで育成します。

そのために以下のような内容を実施していきます。

- 1) 行動する力で地域をけん引することができるように、地域拠点サテライトも教育の場として、地域貢献活動へ積極的に参加することを奨励し、地域とのつながりをより深める教育を実施していきます。
- 2) 北勢サテライトを機能強化し、工学系等の教育研究組織を整備するとともに、地域イノベーション学研究

科等による分野横断的教育組織（学環や学部）を速やかに整備します。

- 3) SDGsの掲げる「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」という課題を意識しつつ、日本社会や地域社会の抱える課題の解決のために、主体的に考え、行動しうる人材、また地域発のイノベーションや価値創造の担い手となりうる人材の育成に向けて、STEAM教育や文理融合教育、アントレプレナーシップ教育、キャリア教育を実施するとともに、社会人への準備プロセスとしてプロジェクト授業の導入などを通じて社会の問題を自ら発見し、解決に導く力を養成する教育を実施していきます。
- 4) これからの大学には、社会で活躍できる若い人材を育成することに加え、激しく変化する社会のニーズに応えるため、社会人の知識やスキルをアップデートするためのリカレント教育が強く求められています。そこで三重大大学は、新たな知識やスキルを獲得したい社会人からの要望に応えるため、学部、大学院という既存の教育組織に並立した、堅実なりカレント教育組織を2030年までに立ち上げます。
- 5) 大学に進学する18歳人口が減少していく中で、自ら行動する意欲のある人材を地域から獲得するために、高大連携を通して入学前履修の推進や「探究」の活動を利用した入試を実施し、三重地域圏に貢献できる人材を育成します。

地域・社会・世界とのつながりを通じた行動

生きる力

感じる力

感性 共感
心身の健康に
対する意識

考える力

幅広い教養
専門知識・技術
論理的・批判的思考力

コミュニケーション力

表現力(発表・討論・対話)
リーダーシップ・
フォロワーシップ
実践外国語力

行動する力

主体性
問題発見・解決力
社会人としての
態度・倫理観

自らの専門性を基礎とし、
地域・社会・世界の課題を発見し、
新たな価値の創造を通して、
課題解決できる行動的人材

社会の激変

新産業の勃興

三重地域圏の活力

災害対策

社会からの要請



SDGs

カーボン
ニュートラル

- ・国際化、多様性理解、DX、STEAM教育の推進
- ・地域をけん引する人材の育成
- ・新たな価値の創造マインド育成
- ・リカレント教育の充実

教育組織の充実・整備

- ・地域創造教育センター、リカレント教育センター等の教育支援組織の整備
- ・北勢サテライトを機能強化し工学系等の教育研究組織を整備
- ・地域イノベーション学研科等を核とした分野横断的教育組織（学部または学環）の整備

地域・社会・世界とのつながりを通じた学び